

オンライン訓練実施に向けた技術的支援に関する検討(1) 3名(令和3年～)

情報技術科 江島 俊文 新田 晃 眞鍋 順子

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、また新しい生活様式(働き方の新しいスタイル)として、テレワークやオンライン会議等の実施が求められている。職業訓練においても職業能力開発促進法施行規則が改正され、オンライン訓練が認められるようになった。そこで、県下の各校及び産業技術短期大学校(以下「短大校」)専門課程グループと連携して、短大校においてオンライン訓練を実施する場合の技術的支援を行うこととした。準備段階から実際の訓練実施までの問題点を把握し、具体的な対策方法を検討する。

2 研究経過

短大校の全5学科の学生が、同時双方向型のオンライン訓練を自宅等で受講する場合の実施方法等を検討した。

3 研究成果

3.1 機器整備

県の「総合職業技術校等のオンライン訓練に係る機器整備」により配備された機器の機種と台数の確認をするとともに、短大校で実施するオンライン訓練で使用する為にWebカメラとヘッドセット45台を購入した。

オンラインミーティングツールは、東部総合職業技術校や西部総合職業技術校の環境に合わせ、無償で利用できるMicrosoft Office 365 Education A1内のサービスであるTeamsを使用することとした。

3.2 事前準備

事前準備として、次の作業を行った。

- ・Microsoft社への短大校ドメイン登録
- ・Teams用職員・学生のアカウント登録
- ・Teams用チームの作成
- ・職員用・学生用Teams操作マニュアルの作成
- ・職員対象Teams使用方法の講習会実施(3回)
- ・学生対象模擬オンライン訓練(全10クラス)

3.3 オンライン訓練実施

今年度は、全学科・全学年10クラスで、それぞれ1日オンライン訓練を実施した。自宅に機材やインターネット接続環境がない学生は、短大校で受講した。

3.4 実施後アンケートの結果

訓練の最後に学生に対してアンケート調査を行った。全10クラスのアンケートを集計した結果の一部は、

次の通りである。(図1)

＜オンライン訓練実施後の学生対象アンケート結果＞
受講者 自宅：168人、短大校：90人
アンケート回答数：244件

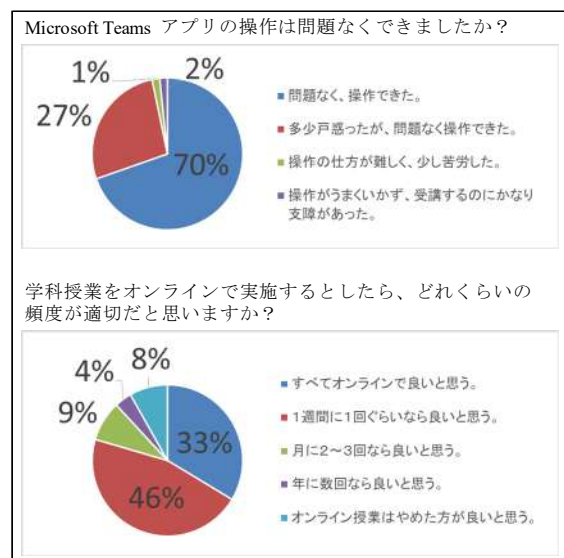


図1 アンケート結果(一部)

主な自由意見

- ・質問や相談が辛い。
- ・座ったままでヘッドホンをして画面を見続けるので、腰、頭、目が痛くなる。
- ・出席確認に時間がかかりすぎる。
- ・顔を出すのに抵抗感がある。
- ・新型コロナウイルス感染症にかかるリスクを低減できる。
- ・教室より資料が見やすく、勉強に集中できる。
- ・通学時間がなくなるので時間を有効に使える。

4 今後の予定

来年度は、オンライン訓練を時間割上に組み込み、定期的実施していきたい。上記アンケート結果分析と職員への聞き取り調査を行い、問題点の把握と改善策の策定を行う。

各学科で実技科目も含めてどこまでオンラインで実施可能かを検討し、必要機材も確認する。また、テレワークに関する技術指導を行う。

今後、運営体制の確立を早急に行う必要がある。ポリシーの設定やアカウント管理を各学科で行えるようにする。機器整備も必要で、特に経済的な理由により自宅に通信機器がない学生への支援が重要となる。